

決算報告（平成30年4月～平成31年3月）

口賃借対照表

（単位：円）

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	10,715,982		
未収入金	3,700		
流動資産合計		10,745,442	
2 固定資産			
構築物	1,238,708		
固定資産合計		1,238,708	
資産合計			11,984,150
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	103,902		
流動負債合計		103,902	
負債合計			103,902
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	11,880,248		
一般正味財産合計		11,880,248	
正味財産合計			11,880,248
（うち当期正味財産減少額）			(201,571)
負債及び正味財産合計			11,984,150

口正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	14,926,278		
雑収益	175,586		
受取補助金等	100,000		
受取利息	157		
経常収益合計		15,202,021	
(2) 経常費用			
事業費			
雑給	884,700		
諸謝金	22,274		
福利厚生費	70,467		
植樹祭イベント費	10,603,396		
育樹祭費用	898,023		
育苗費	248,462		
外注費	941,403		
会議費	68,622		
旅費交通費	630,269		
通信費	121,247		
事務用品費	595		
印刷費	12,030		
水道光熱費	43,817		
諸会費	1,234		
支払手数料	18,319		
車両費	77,657		
保険料	115,000		
支払報酬料	86,400		
減価償却費	143,575		
雑費	12,960		
経常費用合計		15,000,450	
当期一般正味財産増減額			201,571



皆さまのご寄附で苗を育て森をつくっています。ご支援お願いいたします。

●七十七銀行 二日町支店 普通預金： 5 6 2 3 6 7 7
口座名義： 一般社団法人森の防潮堤協会 代表理事 日置道隆

●ゆうちょ銀行総合口座 記号： 1 8 1 3 0 番号： 2 1 7 1 5 2 3 1
口座名義： 一般社団法人森の防潮堤協会

●ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号： 0 2 2 7 0 - 8 - 1 3 4 0 8 7
加入者名： 一般社団法人森の防潮堤協会
※郵便局の「振込取扱票」にてお振込みが可能です。

一般社団法人 森の防潮堤協会 〒981-0931 宮城県仙台市青葉区北山1-14-1（輪王寺内）

森の防潮堤活動報告書

H30.4～H31.3

これまでの植樹本数

325698 本

morinobouchoutei.com

東日本大震災後、岩沼市「千年希望の丘」に、7年間、延べ人数4万人を超える皆様とともに植えた3万4千本の木々はスクスクと生長し、未来の子ども達の生命と財産と心を守る「森の防潮堤」となりつつあります。私たちが目指すものは、高い木から低い木までその土地にあったいろいろな種類の木々の苗を市民の力によって植え、本物の森を創ることです。森の中では、無限の生命がいがみ合い競争しながらもともに生き、絶えず生滅を繰り返しながらも永年存続します。そのような森は、防災・環境保全林として未来の子ども達を守ってくれるのです。私たち人間は、哲学不在の科学技術に手綱をまかせて自然の摂理から遠く離れ、自ら自然とのつながりまでも断ち切ってしまいました。ここに私たちが今日直面する、心も含めた様々な問題の根本原因があると私は思います。昨今、気候変動を原因とする大災害が日本各地で発生しています。多様性ある土地本来の森と共生することが、私たちの生命と財産と心を守ってくれることを知って欲しいのです。私たちは、生命を基点とした文明こそが未来に残すべきものであると確信し、その基本となる「ふるさとの森づくり」を推進することによって、未来社会に貢献いたします。また、この哲学を世界中に広めることも目標としています。本年度、「森の防潮堤」を推進する静岡県と連携し、手始めに静岡市「ふじのくに地球環境史ミュージアム」中庭で、小規模ながら子ども達と植樹祭を実施しました。これからの展開が楽しみです。

私たちの活動にどうぞお力をお貸しください。そして、これまで「森の防潮堤協会」の活動を支えてくださった皆様へ、あらためて感謝申し上げます。

一般社団法人森の防潮堤協会理事長 日置道隆

平成30年度主な活動報告

- 4月 「復興支援ありがとうの森2020」植樹祭（愛知県）
- 4月 千年希望の丘、海見える植樹祭（岩沼市）
- 5月 「復興支援ありがとうの森2020」植樹祭（長野県）
- 6月 ふるさとの杜再生プロジェクト植樹祭
- 6月 「復興支援ありがとうの森2020」植樹会（東京都）
- 6月 第二回「緑樹の森」植樹会（石巻市）
- 6月 宮城県柴田農林高等学校「beyond2023」植樹（岩沼市）
- 6月 幼苗鉢上げ作業（森の防潮堤協会圃場）
- 6月 第11回千年希望の丘育樹会（岩沼市）
- 7月 第12回千年希望の丘育樹会（岩沼市）
- 9月 第13回千年希望の丘育樹祭（岩沼市）
- 10月 「復興支援ありがとうの森2020」植樹祭（京都府）
- 11月 ドングリ採取

平成31年（令和元年）度の主な活動予定

- 5月 岩沼市千年希望の丘植樹祭&収穫祭2019
- 6月 第14回千年希望の丘育樹祭
- 6月 幼苗鉢上げ作業（森の防潮堤協会圃場）
- 7月 第15回千年希望の丘育樹祭
- 9月 幼苗鉢上げ作業（森の防潮堤協会圃場）
- 9月 第16回千年希望の丘育樹祭
- 9月 千年希望の丘と緑のトンネル探検ツアー
- 11月 ドングリ採取

平成30年度
植樹本数 20,400本



○千年希望の丘、海見える植樹祭（4/21）

1,500人のボランティアの皆様に参加いただきました。事前の準備作業を含め、延べ1,800人全員が力を合わせて約15,000本の苗木を植え切ることができました。
常緑高木：タブノキ、シラカシ、アカガシ、ウラジロガシ、スダジイ、アラカシ
常緑亜高木：ヤブツバキ、シロダモ、モチノキ
落葉高木：エノキ、カシワ、ケヤキ、コナラ、ヤマザクラ
常緑低木：アオキ、トベラ、ネズミモチ、ヒサカキ、マサキ、シャリンバイ、ヤツデ
落葉低木：イボタノキ、ウグイスカグラ、ウメモドキ、ガマズミ、カマツカ、クロモジ、コマユミ、マユミ、ムラサキシキブ、ヤマツツジ、ヤマブキ、ハマナス



○ふるさとの杜再生プロジェクト植樹祭（6/2）

仙台市と仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議との合同で行われ、約500人の皆さんで、海側に近い仙台市エリアには抵抗性クロマツを、内陸側の森の防潮堤協会エリアには広葉樹を植樹しました。（海側陸側合計本数約7,000本）



○第11,12,13回千年希望の丘育樹祭2018（6.7.9月）

第11回育樹祭。参加者約400人。一般社団法人千年希望の丘協会主催の育樹祭に合流するかたちで行いました。第12回育樹祭。岩沼市千年希望の丘藤巻根地区で一般ボランティア様、東北電力株式会社様、パナソニック松愛会東北支部様、宮城県柴田農林高等学校様、約80人による育樹祭を行いました。第13回育樹祭。一般社団法人千年希望の丘協会、一般社団法人みんなのアグリツーリズム&イノベーション、公益財団法人鎮守の森のプロジェクト、一般社団法人森の防潮堤協会の4団体合同主催で千年希望の丘二野倉エリアで育樹作業（除草）を行いました。参加者約350人。



「復興支援ありがとうの森 2020」をスタート！

森の防潮堤協会は、東北被災沿岸部にいのちを守る森の防潮堤をつくっています。その代表的なプロジェクトである宮城県岩沼市「千年希望の丘」は、今や東北被災地復興の象徴と呼ばれています。この活動には多くの方々のご支援をいただきました。そんな皆さんに感謝の気持ちを伝えたい、ささやかながら小さな森をプレゼントしたい、生物多様性豊かな森を日本全国に広げていきたい。そんな思いから、「復興支援ありがとうの森 2020」をスタートしました。



株式会社三五様 と「復興支援ありがとうの森2020」

植樹祭を開催しました。三五様は、東日本大震災復興支援活動として、国内8事業所での育苗活動に多大な尽力を注がれ、これまでに当協会に20,000本もの苗木を寄付いただきました。



4月



駒澤大学高校様 は震災直後から岩沼市の震災復興に

継続的に支援をおこなって来ました。千年希望の丘植樹祭には毎年参加してくれました。長野県信濃町に駒澤大学高校が森の里親を務め、森づくりを行っている学習林「絆の森」があり、その一角に植樹を実施しました。



一般社団法人日本フィトセラピー協会様 と「復興支援ありがとうの森2020」

東京自由が丘植樹会を行いました。震災後、最初の被災沿岸部現地調査の応援に東京から駆け付けたのが、植物療法士の日本フィトセラピー協会池田明子理事長でした。日本フィトセラピー協会様の継続的かつ長期的なご支援に感謝の気持ちを込めて、みんなで「復興支援ありがとうの森 2020」をつくりました。



6月



エスベック株式会社様 と「復興支援ありがとうの森 2020」

福知山植樹祭を開催しました。エスベック株式会社様は2013年～2018年までの6年にわたり、のべ118名の社員の皆様岩沼市千年希望の丘植樹祭に参加、協力してくださいました。継続的かつ長期的なご支援に感謝を込めて「復興支援ありがとうの森2020」をつくりました。



10月